

腹部動脈検査 および 肝動脈塞栓療法を受けられる方へ(TAE)

(

様)

	前日 (/)	治療当日 (/)		翌日以降(/)
		治療前	治療後	
目標	・治療の注意点について理解できる。		・腹痛や吐き気の症状がみられたら医師や看護師に伝えられる。 ・指示の安静を守る事ができる。 ・出血がみられない。	
内服	・通常どおり *ワーファリンなどの抗凝固剤は1週間前から中止します。	・絶食中は内服もしないで下さい。 * 血圧、糖尿の内服については、 <u>医師または看護師にお尋ね下さい。</u>	・食事開始とともに、お薬も再開して下さい。 (抗凝固薬は指示があるまで飲まないでください)	・通常どおり
処置・検査	・弾性ストッキングをお渡しします	・下履きを脱ぎ、ガウンに着替えます ・左腕から点滴をします。 ・ストレッチャーで血管造影室に出ます	・帰室後時間毎に体温、脈拍、血圧を測ります。 ・止血のための圧迫が適切かを観るために、穿刺部位の観察をします。 ・痛みや熱が出たときにはお知らせ下さい。 ・点滴をしたまま病室に戻ります。医師の指示により抗生剤の点滴をします。 ・放射線科の医師による診察(圧迫解除)があります	・穿刺部位のガーゼ交換をします。 ・数日間抗生剤の点滴をする場合があります。
食事	・通常どおり	・検査前の食事は絶食です。 ・水、お茶は()時まで飲めます	・帰室直後より水、お茶が飲めます。 ・検査2時間後から食事ができます。 夕食はおにぎり食です。安静中ですので介助します。 	・通常どおり
安静	・制限はありません		* 治療後の安静は大変重要ですのでご協力下さい ・医師の診察(圧迫解除)までは上を向いた姿勢で寝て下さい。右膝を立てないようにして下さい。 ・医師の診察(圧迫解除)後、横向きの許可が出来ます。 ・()時以降はトイレ歩行が出来ます。	
排泄		・尿の管を入れます。	・トイレ歩行の許可ができましたら、尿の管を抜きます。	
清潔	・入浴してください			・翌日よりシャワー浴が出来ます
説明	・放射線科の医師より治療の説明があります。 ・同意書を提出してください ・バスタオル2枚とT字帯1枚準備して下さい。			

*これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りいかないこともありますので御了承ください。福井県立病院 消化器内科 2014年9月 改訂